



森山通信

2011年 Vol. 2

平成23年第3回定例会の一般質問では、電力の需給が逼迫した状況が継続していることから節電を意識するライフスタイルを市が先頭に立って牽引する取り組みの4項目について訴えました。

◆ 一般質問通告事項 と 答弁要旨 ◆

①LEDの活用について



LED道路街路灯の設置推進で節電・省エネ

《質問》 道路照明灯をLED化することについての当局の見解を伺います。

《答弁》

市が管理する道路照明灯：約17500基
 一年間に交換する道路照明灯電球数：1500個
 道路照明灯電気料：約3億700万円/年
 道路照明灯維持修繕費：約4400万円/年
 平成22年度新規設置数：41基
 既存の灯具をLED道路照明灯に変更するには、電球交換の約14倍の初期投資が必要であることから、新規設置の場合にLED化を検討してまいります。

《要望》

答弁の通り、新規設置の場合は積極的に道路照明灯のLED化に取り組んでいくことを要望しました。

②太陽光エネルギーについて



一般家庭と公共施設への太陽光発電設備を推進

《質問》

太陽光発電設備設置助成事業でどれだけの節電効果や温暖化防止効果を期待されているのか？

《答弁》

今回の補助により230世帯が3キロワットの発電設備を設置したとすると、1年間で約69万キロワットアワーの発電量が 見込まれ、これは200リットルのドラム缶約830本の灯油による発電量に相当し265トンのCO₂を削減できます。

《質問》

一般家庭や公共施設への太陽光発電設備設置の計画的な導入をどのように考えているのか？

《答弁》

本年度中に再生可能エネルギー導入プロジェクトチームを立ちあげ、太陽光発電など再生可能エネルギーの計画的な整備に関する具体的な事項について検討してまいります。

《質問》 再生可能エネルギーの計画的な整備に関する具体的な事項とはなにか？

《答弁》

再生可能エネルギーの種類、候補地の選定、効率性や経済性を踏まえた設備の規模を始め、導入スケジュールの策定など、本市への導入可能性について検討することとしております。

《質問》 メガソーラー・大規模太陽光発電の導入について、どのように考えているのか？

《答弁》

川崎市の事例を参考に、蘇我最終処分場跡地等への設置の可能性について、再生可能エネルギー導入プロジェクトチームの中で、研究していきたいと考えております。



提案で示した川崎区浮島町メガソーラー発電所

③公用車について



《質問》

千葉市として公用車に電気自動車を導入し、モデル地域で電気自動車を使ったカーシェアリングを実施する等、市民の環境意識啓発と併せて次世代車普及を推進すべきと考えますが、当局の見解は？

《答弁》

今年度からスタートした自動車公害防止計画で、EV車など次世代自動車の普及促進を重点施策に位置付け、平成26年度を目途に試験導入の予定であります。まずは今年度中に協議会を設置してまいります。

《要望》

企業が推進することを待つだけでなく、行政が行うことをしっかり計画され公用車に電気自動車の導入を行って、普及のため、市民に体験できる方策を検討していただくことを要望しました。

④再生可能エネルギーと教育への活用

《質問》

再生エネルギー発電施設の見える化を推進し、学校で生徒がいつでも見たり触れたりできる様に、科学の教育や環境教育の一環として活用すべきと考えますが当局の見解を伺います。

《答弁》

再生可能エネルギー発電施設の見える化についてですが、本市の「自然エネルギー導入の基本方針」に基づき、おゆみ野南中学校に太陽光と風力の両方で発電するハイブリッド外灯を設置し、現在の発電量が見えるようにしております。なお、現在、改築工事を行っております、緑町小学校及び松ヶ丘中学校に、太陽光発電設備に加え、ソーラー外灯を設置することとしており、設置済の学校と同様に環境やエネルギー教育の身近な生きた教材として活用するとともに、地域住民への自然エネルギーの啓発に努めてまいります。

《要望》

再生可能エネルギーの教育への活用については、是非、学校施設から取り組みをはじめ、まちの公共施設に太陽光発電、風力発電、そして小水力発電施設などを展開し、再生可能エネルギーの見える化で環境や科学の教育に活用することを要望しました。



これからも皆様の声をカタチにすべく、全力で頑張っております！

森 山 かずひろ TEL : 043-245-5483 FAX : 043-245-5584